

幸綱先生について
幸綱先生の事は、以前から家族や
従兄から時々話を伺つて承知してお
りましたが、初めてお目にかかつた
のは昭和五十九年一月二十六日、祖
父一郎の歌碑除幕式の時でした。
貫禄のある先生ですが、明るくて

特別展図録の解説や展示品の説明を受け、お蔭さまで信綱先生の事が飯田恒治氏、祖父の事をより詳しく知る事が出来ました。そして、信綱先生の作品を身近なところで知らずに触れていたことに大変驚き、感銘いたしました。唱歌「夏は来ぬ」や「神崎小学校校歌」です。この様な偉大な信綱先生に祖父がお世話をされた事は、我が家にとって大変名誉であり宝でもあります。このことを関係者や子々孫々に伝えていきたいと思つております。

■飯田恒治氏について
恒治氏は私が子供のころからよく祖父一郎を訪ねて我家へ来ておりましたが、直接会話を交わすようになつたのは、昨年の六月二十四日に親父が他界した時でした。祖父が歌人で、親父も晩年は短歌を楽しんでお

祖父一郎との思い出

椿
正明



左から幸綱先生・祖父一郎・恒治氏
で話題が豊富で、席に居るだけでも、樂しくなる様な先生でした。最近

佐 佐 木 信 綱		記念館だより
第二十七号		
発行・編集		
鈴鹿市文化課 佐佐木信綱記念館 鈴鹿市石葉師町 1707-3		
TEL·FAX 059-374-3140		
目 次		
寄稿「祖父一郎との思い出」	椿正明	1
記念館ニュース「平成二十四年度特別展報告ほか」	磯上知里	2、3
「新資料の紹介」	信綱(首二十七)	
展示室だより	磯上知里	
維考坂尾富司、磯部和生		
		4

